

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第 13 節

vs. 愛媛 FC

5/10 (日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第 12 節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	金沢	26p	+12	18	6	H●
2	磐田	25p	+9	20	11	
3	千葉	24p	+12	20	8	
4	大宮	24p	+7	15	8	
5	福岡	23p	+5	18	13	A△
6	長崎	21p	+7	17	10	HO
7	札幌	20p	+5	13	8	
8	C大阪	18p	+6	21	15	H●
9	岡山	17p	+5	13	8	A●
10	愛媛	17p	-1	11	12	
11	東京V	16p	0	13	13	A●
12	横浜FC	16p	-3	14	17	
13	讃岐	15p	-2	8	10	HO
14	北九州	15p	-4	14	18	A●
15	群馬	14p	-5	10	15	
16	栃木	13p	-5	11	16	H●
17	徳島	12p	-5	8	13	A●
18	水戸	11p	-4	9	13	
19	京都	10p	-8	11	19	H△
20	大分	9p	-6	11	17	A●
21	熊本	8p	-12	7	19	
22	岐阜	8p	-13	11	24	---

次回HomeGame

第15節 vs.大宮アルディージャ

5/24(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心 癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町 3 丁目(木ノ本公園東)

today's guest : 愛媛FC

2014 J2 12勝12分18敗 勝ち点48:第19位

直近の対決と結果

2014/08/10
J2-26節@長良川
岐阜 4-3 愛媛
ヘニキ×2、益山司、ナザリト scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	愛媛FC
2015/05/06 J2-12節@長良川 岐阜 1-1 京都	2015/05/06 J2-12節@ニスタ 愛媛 0-0 札幌
2015/05/03 J2-11節@本城 北九州 2-1 岐阜	2015/05/03 J2-11節@NACK 大宮 1-0 愛媛
2015/04/29 J2-10節@長良川 岐阜 1-0 長崎	2015/04/29 J2-10節@ニスタ 愛媛 2-3 北九州

●5/6(水)に行われたホームでの京都戦は、残念ながら1-1のドローに終わった。試合開始早々に#11 遠藤純輝の今季初ゴールで先制し、また追加点のチャンスが何度もあったのに決めきれなかったFC岐阜。逆に一瞬の隙を相手に突かれて失点してしまった。19位と不振に苦しむ京都を相手に勝てる試合、勝つべき試合を勝ちきれないところが現在のチーム事情を表しているとも言えるが、勝ち点1を積み上げたことは評価しておきたい。同節では、熊本(21位)と大分(20位)も対戦し0-0の引き分けに終わった。下位4チームが勝ち点1を積み上げたので順位の変動はない。勝ち点3差に水戸(18位)、6差に群馬(15位)がいる状況で、まだまだ順位を気にして焦る段階ではないが、しかしホーム戦では勝利を見たいし少しでも順位を上げて欲しいのがサポーターの心情だ。今節のホーム戦でも、勝利を掴み取って欲しい。

さて、今節の対戦相手は現在10位の愛媛FCだ。最近3試合は未勝利だが、その直前には千葉を破るなど4試合連続で完封し、木山隆之監督1年目でクラブ史上初の4連勝を達成し波に乗っているチームだ。直近3試合未勝利なのも上位相手の対戦が重なったなどの理由で、調子が落ちていると見るのは早計だろう。その愛媛との通算対戦成績は、岐阜の2勝10分4敗。ホーム戦でも2勝5分2敗と分が悪いが、前回対戦した昨年8/10(日)第26節、台風通過直後のホーム戦では、先制した直後に2点を奪われ逆転され、さらに後半開始直後に失点し2点差をつけられたが、ラスト15分で3得点を叩き出して4-3と劇的な逆転勝利を納めている。(失点は不要だが)あの勝利のイメージで、選手たちには自信を持って戦ってほしい。

愛媛は、#10 瀬沼優司、#18 西田剛、#20 河原和寿の前線3人の連動が攻撃の鍵となっている。1シャドーの動きからゴールを狙う#20 河原は現在4得点。この飛び出しを岐阜の守備陣がしっかりケアすることが重要だ。また岐阜のCB #20 岡根直哉と愛媛のFW #10 瀬沼優司は、2人とも清水エスパルス出身、去年はレンタル移籍した栃木で共に戦った間柄だ。お互いを意識したマッチアップは激しいものになるだろうが、岡根が瀬沼を押さえ込む活躍を期待したい。また、愛媛に期限付き移籍しているボランチ、#15 岡崎建哉(ガンバ)、#36 秋山大地(セレッソ)のコンビにも警戒が必要だ。

今節は(シーズンで最も過酷な日程である)GW5連戦の5戦目。残念ながら現在の岐阜は大勢の怪我人を出し、また多くの選手は体力の限界に来ているだろう。幸いなことに、他のチームは中2日の土曜日に試合を迎えているが、岐阜は中3日、しかもホームで今季初のナイトゲームでGW最終戦を迎えることができる。多少は選手の体力回復が期待できるかもしれない。とはいえ非常に苦しい台所事情の中で、(メディカルスタッフも含めての)チーム総力戦が続く。ラモス監督の采配にも期待したいが、出場機会を与えられた選手は絶好のチャンスと大いに奮起して活躍して欲しい。

そして、今日5/10は恩田聖敬社長の37歳の誕生日だ。難病であるALS(筋萎縮性側索硬化症)と戦いながら、クラブのために、岐阜のために奮闘してくれている社長に、今日は必ず勝利をプレゼントしなくてはならない。その為に、僕らサポーターは最後まで全力で応援し、選手に力を与えよう。そして今日こそ全員で、勝利の歓喜に沸こうじゃないか。(ささたく)



「いらっやませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@
hotmail.co.jp

【第12節】岐阜 1-1 京都

●お互いのチーム事情をよく反映したような試合内容。それでも岐阜が思いのほか早く先制できて、前半はほぼ完璧な試合内容。逆に京都さんどうしちゃったのというくらいにゆるゆるな感じだった。この前半の内容を後半も続けられないのが今の岐阜。大黒のゴールはもう相手褒めるしかない。一瞬の隙を突きたいかにも大黒らしいゴールだった。

勝ち点1をプラスに捉えてまた次へ。怪我人続出で野戦病院状態だけど、しぶとく勝ち点を積み重ねていければと。(岐阜の誇り)

●GW5連戦の4戦目、そして中2日でのデイゲーム。今でもすっかり「野戦病院」でスタメン選りも苦しいチームなのに、前節の北九州戦でもさらに負傷者を出してしまっただーするんだ…と少し(かなり?)不安に思いながらの京都戦。ところが、いきなり#11 遠藤純輝の(今季初)先制ゴール! 今までは「プレーオフ争いをしてきたような京都が何故この順位に…?」と思っていたのだけど、申し訳ないけど納得のユルさ。その後も何度も追加点のチャンスがあって、だけどそれを決められなくて…そして、よく言われる話だけ「チャンスを決められないと流れが変わってピンチになる」という、まさにサッカーのお手本のような展開。後半開始からダニエル・ロビーニョを投入して修正してきた京都に、前半のようには攻められないようになって、そして審判の笛で集中が切れた一瞬を突かれての失点。とはいえ、あのワンチャンスをしっかり決めきるのは、さすが大黒…と敵ながら天晴れと言わざるを得ない。しかし、逆に言えば、そのワンチャンスを潰せてさえいれば京都相手に勝利が手に入れられたかと思うと、残念な気がしてならない。いやあ、あれだけ実力のある選手が揃っていても、この順位になる可能性があるって、サッカーって怖いですねえ…(苦笑)。しかし勝ち点3が1に減ってしまったのは事実な訳で。今後は「取りこぼし」のないようにね!(ささたく)

●「大丈夫か? 京都……。」前半が終わった時点で思ったのがコレだった。もちろん、自虐な意味も含めての感想であって、その京都よりも下、最下位に沈んでるクラブのサポが言えた義理ではないことは承知している。それでも、このピッチにいる京都は自分の知っている、去年までの京都ではなかった。DF陣の顔ぶれも変わっているし、移籍した主力もいる。確かに、ウチが先取点を挙げた場面でのワンタッチパスの交換は鮮やかだった。だが、それ以外にも随所にヌルい対応が見受けられた。だからこそ、訪れた決定機を確実にモノにしておきたかった。

この試合の感想を率直に表すと「納得できない。」という一言に尽きる。前半がイケイケだった分、後半はバテたところもあったのはやむを得ない。「勝てた試合」とは言わないが、「勝たなきゃいけない試合」だった。

とにもかくにも、あの失点。主審の判定に納得できないロドリゴの様子に全員が気を取られ、その間隙を突いた素早いリスタートと大黒のボレー。敵ながら天晴れなプレーだったが、油断していたウチの選手達には猛省を促したい。ことに最終ラインの選手達は、昨季のJ2得点王である大黒という稀有のストライカーの存在を一瞬たりとも見逃して欲しくなかった。でも、それを抜け目なくやってしまうのが大黒なんだろうな。高い授業料だったと思うしかないか。もったいない試合だった。

とはいえ、この日も含めて最近のレオミネイロは実にイイ感じ。久々出場の宮沢もよかった。その反面、初ゴールを挙げたとはいえ、ジュンキには物足りなさが残った。もっとやれるだろ?と思うんだが。それは、泰輔にも言えること。あんなもんじゃないはずだ。もっと、高いパフォーマンスを期待しているよ!(ぐん)

●順位に相応しい内容の試合……と書いたら、京都サポさんは怒るかなあ。実は「今年の京都」はNACKでの大宮戦で現地観戦を(京都側ゴール裏近くで)観ていて、前半は大宮を内容で圧倒していた……ように見えたのだけど、PKで先制され、CKから追いつくも試合終了近くに引き離されて負け。この時に「こういう試合を獲れないから京都は昇格出来ないんだなあ」と思った。

その時に視えた“今年の京都の欠点”。試合を動かす、相手ゴール前を危険区域にする「ラストパス」が効果的に出てこないのだ。ゲームは支配出来ても、それを結果(ゴール)に結びつけるプロセスが欠落している。「一瞬」で勝負出来るFW大黒次第のサッカーになってしまっているのだ。ダニエル・ロビーニョは手数をかけていく京都のようなチームでは脅威になっていない。そして、それは長良川でもさらに悪い方向に具現化していた。

大宮戦ではレジスタの位置で自在にボールの出し入れをして相手DFを翻弄し、「ガンバに行って新境地を開いたね…」と感嘆した佐々木のポジションの曖昧さ(大黒と絡んで前線で仕事するのか、レジスタで試合を制御するのか)もあって、京都の中盤には「……罨ですか?」と岐阜サポが思うほどの『マークのない空間』が試合中に何度も発生し、ウチはそこから好き放題に攻撃を仕掛けられた。純輝のゴールはたしかに綺麗なパス交換からゴール前でフリーになった美しい崩しのゴールだった。でも、やっぱり「京都のDFがこんなに簡単に崩せるはずがない」という気持ちもあって。バヤリツアの故障は相当な損失だったんだろうなあ。

で、結局は上にも書いた「一瞬」で勝負出来るFW大黒に後半に決められてのドロー。前半のレオミネイロのシュートが枠に当たって中に転がってれば……とは思わない。ぼくは、ウチが後半に打つ手を間違えたのが「勝ち点を2つ減らした(敢えてこう書く)」理由だと思っている。ヘニキに替えて泰輔は、これ以上ケガ人が出るのを恐れたのかな…と考えれば納得が行くけど、ゴールの場面以外はあまりいい動きではなかった純輝に替えてロドリゴ。これで縦の突破力が消えた。ロドリゴはどちらかというバランス的な動きをすることが多い。もちろん用兵は監督の権限だから外野がどういう言ってもしょうがないのだけど、この日の京都の後ろの緩さ(「弛緩している」と言ってもいいくらい)を考えれば、縦に強く仕掛けられる主輔あたりを入れてくれていたら……と。ホームに8000人を集めた試合なのだから、監督にはもう少し“仕掛けて”ほしかった。そこが残念。(吉田铸造)

【ユース】連敗スタート……

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は5月6日にG1リーグの第2節長良高校戦を戦いました。結果は1対3での敗戦。これで開幕から2戦連敗となりました。非常に苦しいリーグ戦の立ち上がりとなりましたが、気持ちの切り替えと戦術・連携の再確認をして欲しいです。

そして今週末は9日(土)にG1リーグ第3節の郡上高校戦、10日(日)にクラブユース選手権の1次リーグの最終戦である愛知FC戦が予定されています。愛知FC戦は12時半KOなので、既に試合は終了している筈です。結果が気になります。G1リーグはインターハイの県予選の為に次戦は6月13日(土)の第4節各務原高校戦です。クラブユース選手権は今日の試合結果次第ですが、リーグ戦を突破していれば6月14日(日)の最終トーナメントまでこちらも中休みとなります。てか、又連戦ですか(苦笑) 頑張れよ、応援しているからな! FORZA! FC岐阜ユース!! (シュナ)